



## 【渋民地区】 案内表示板を設置しました

渋民地区自治会連絡協議会（柳村隆一会長）は、令和5年度、新たに渋民公園に案内表示板を設置しました。



同協議会は、平成25年に地域づくりのために「渋民地区地域づくり計画」を策定（平成29年改訂）し、特に観光PRなどに力を入れた活動に取り組んでいます。

本事業は、自然と景観・歴史を活かした里づくり事業の一環として、渋民地区の名所を紹介するために長年取り組んでいるものの1つで、地域住民や市外からの観光客に、名所やその歴史について知ってもらおう機会となっています。

## 見前地区地域づくり大会

見前地区町内会連絡協議会（柿木和夫会長）、見前地区自治公民館連絡協議会（福島孝昭会長）は、1月27日（土）、見前地区公民館を会場に、令和5年度見前地区地域づくり大会を開催しました。

事例発表の部では、西鹿渡自治公民館の押田正美館長が、西鹿渡自治会の令和5年度の活動について発表。取り組む上で課題となった事柄などについて、詳細な分析資料とともに、よりよい活動にするための考察を伝えました。また、意見交換会では、LINEを活用した情報交換の事例などが話題になっていました。



記念講演の部では、「ふるさとの言葉で語る盛岡昔ばなし」と題し、盛岡ふるさとガイドの花田陽子さんが、盛岡弁による昔話を披露。親しみある盛岡弁によるユーモア溢れる語り口に、参加者は聞き入りながら、たびたび笑い声を上げていました。



## 市民協働推進センターを知ろう！ 中央公民館編



町内会・自治会、NPO法人等の地域活動や市民協働を支援するために設置している市民協働推進センター。今回は、中央公民館（愛宕町14-1）を紹介します！

### 市民協働推進センターとは？

地域活動、NPO活動、市民活動に取り組む団体の支援のため、市内6館の公民館（中央・上田・西部・河南・都南・渋民）に設置している拠点です。

### 中央公民館から一言！

中央公民館は市民向けの講座・イベントを実施するほか、各種サークルの活動の場にもなっています。また敷地内にある美しい日本庭園や重要文化財も魅力です。

また地域のお困りごとについても必要があれば担当課へつなぎ一緒に考えてまいります。ぜひお気軽にお問い合わせください。

### イベント情報

中央公民館では、町内会などの地域団体が研修会等を開く際に、登録された指導者等を派遣する「学びの循環推進事業（学びの輪）」を行っております。コースは以下の3つとなっております。

利用を希望される場合は、お気軽に相談ください。

#### コース紹介

- 一般コース（1年度につき1団体1回まで）  
豊富な知識などをもつ市民及び団体等を講師として派遣します。（申請数が60件に達した場合、受付を終了する可能性があります。）
- 専門コース（講師料無料。1団体、何度でも）  
専門的な知識を学びたい団体向けに、大学等と連携して、教員を講師として派遣します。
- まちづくりコース（講師料無料。1団体、何度でも）  
盛岡市の制度や事業に関する学習機会を提供するため、市職員を派遣します。

事業の詳細についてはこちらから→  
広報ID：1000681



回																			
覧																			



発行：盛岡市市民部市民協働推進課

〒020-8530 盛岡市内丸12-2  
TEL：019-626-7535（直通）

（令和6年4月発行）



# 活気に満ちたまちをめざして

～好摩駅イルミネーション～

好摩地区まちづくり協議会（伊五澤勉会長）は、令和5年12月上旬から令和6年3月中旬までの期間、好摩駅にイルミネーション装飾を行いました。

同協議会は、平成27年に地域づくりのため「好摩地区まちづくり計画書」を策定し、特に自然環境やにぎわい・ふれあいに関する活動に積極的に取り組んでいます。当初は、好摩1自治会で本事業を実施していましたが、令和2年度から同協議会の事業として、IGRいわて銀河鉄道（株）や好摩駅愛護会、地域の子供会などと協力し、毎年度実施しています。

期間中は、最終電車が好摩駅に停車する23時30分頃

まで約3万5,000球のLED電球を点灯し、駅の利用者などからは「明るくてほっとする」と好評を得ています。また、5きげんテレビ（柵テレビ岩手）において、イルミネーションの様子が放送されるなど、注目を集めました。

市は、地域の様々な団体が一体となりまちづくりを行う「地域協働」の取組みを推進しています。現在、好摩地区を含む12地区（コミュニティ推進地区単位）において「地域づくり計画」に基づく事業を実施しています。詳しくは、市公式ホームページを御覧ください。

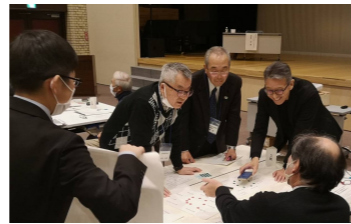
広報ID:1011431



左から  
関 布美 主任  
及川 祐介 さん  
舟山 野乃花 主事

# 令和5年度 コミュニティリーダー研修会を開催しました！

令和6年2月3日（土）、盛岡市中央公民館（市愛宕町）などを会場に、令和5年度コミュニティリーダー研修会を開催し、町内会・自治会の役員など17名が参加しました。今年度は、事例発表の部を1月12日（金）から3月31日（日）まで市公式YouTubeにて動画配信し、当日は講演及び情報交換会を会場で行いました。



## 事例発表

### ①本宮地区福祉推進会

発表者：会長 <sup>ながおか</sup> 長岡 <sup>としあき</sup> 利明さん 事務局長 <sup>といた</sup> 樋下 <sup>てるお</sup> 照男さん



平成23年11月に「もとみやまちづくり計画書」を策定し、安心・安全で活力のあるまちづくり、豊かで暮らしやすいまちづくりのため、様々な事業を実施しています。

令和2年度までは、本宮地区内に3つの地域組織が存在し負担が大きいといった課題がありました。そこで、組織の統合を行い、令和3年度からは組織を一本化し、各種事業を行っています。

令和4年度は、①ゆいっこセンター祭り②防犯・防災の取組み③伝統芸能講演会④地域課題（交通安全）の取組みの4点に視点をあてて事業を実施しました。このうち、地域課題（交通安全）の取組みでは、交通安全マップの作成をしました。ポイントとして、実態把握のため、交番所長の講話、ワークショップでは、地域安全協会や小中学校、盛岡東警察署、市の地域課題アドバイザーといった様々な主体が関わっています。

### ②永井地区まちづくりの会

発表者：会長 <sup>かねひら</sup> 兼平 <sup>たかのぶ</sup> 孝信さん アドバイザー <sup>かわむら</sup> 川村 <sup>かずひろ</sup> 和寛さん



平成18年に盛岡市南部の永井地区の上永井、中永井、下永井の3つの自治会の垣根を越えて、地域課題に取り組む組織として、地域の有志により設立されました。以来17年以上にわたり、毎月30名以上が参加する定例会を開催し、地域課題の掘り起こしや解決策の検討を実施、各種事業を実施しています。

令和5年度は、地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業（一財）地域活性化センターの

助成金の交付を受け、①情報のストックとしてのホームページの作成②情報発信ツールの活用講座の開催③地域誌の作成と講座（地域学）の開催④伝統文化の担い手育成の取組み⑤マルシェ・地域食堂の開催⑥地域づくりワークショップの開催といった多岐にわたる取組みを実施しました。

今後も、「誰かが自分たちのために何をしてくれるか」ではなく、「自分たちが地域のために何ができるか」を考え、実践し、「住んで良かった」と思えるようなまちづくりを目指しています。

### ③盛岡市役所情報企画課

発表者：副主幹 <sup>かしま</sup> 鹿嶋 <sup>ひろたか</sup> 大孝さん



町内会・自治会等の地域で活動する団体では、役員の高齢化や担い手不足により、事務の負担が特定の人へ偏る傾向があるなどの問題が顕在化しています。

こうした課題の解決の一手段として、令和5年度は、試験的に町内会・自治会等のデジタル化を支援するため、緑が丘一丁目北区町内会を対象にLINE活用講座（①役員向けにメンバー管理及び

メッセージ投稿など管理者機能について、②町内会員向けにLINEの基本操作、招待や二次元コードによる登録方法などについて）を開催しました。

講座の開催により、LINEによる情報共有が進み、役員の負担軽減につながることや参加者同士が顔見知りになる効果が期待できます。また、公式LINEがあることで、若者の地域への関心の醸成につながり登録者の増加や町内会への加入促進などにもつながっていく効果も期待できます。

主催：盛岡市、盛岡市町内会連合会、玉山地域自治会連絡協議会、“世界につながるまち盛岡”市民会議

## 講演

### 演題： これからの町内会・自治会の活性化のヒント



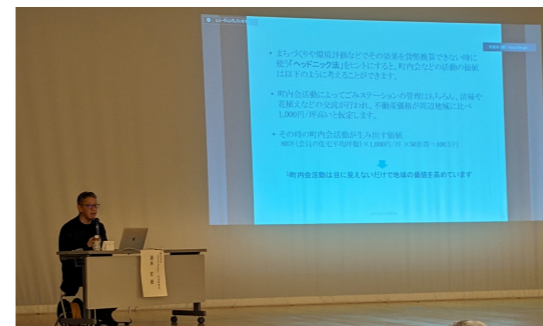
講師  
株式会社Glocal Design  
代表取締役 <sup>さけもと</sup> 酒本 <sup>ひろし</sup> 宏 さん

#### ○町内会・自治会の価値と必要性は？

町内会は、地域コミュニティの中核で、地域の価値を高める大切なインフラであるため、活動が活発かどうかは、地域の価値に大きく影響します。

#### ○加入率の低下と担い手不足の構造

- 主な原因は、次の4点です。
- ①自分たちが希望する活動・事業がない。
  - ②閉鎖的な組織（不信感・参加しにくい）。
  - ③情報発信がされていない・SNSなどの活用がない。
  - ④町内会組織と住民の距離（つながりがない）。



## 情報交換会

### テーマ： これからの町内会・自治会を考えてみよう！

自分が所属している町内会・自治会の活動を点数化し、現状を確認。その後、他の参加者の点数と見比べながら、原因や今後の取組みについて意見交換しました。その一例を紹介します。

点数が低い項目（活動）	点数が低い原因	点数を高くするためのアイデア
①若い世代向けの活動	新年交賀会、敬老会、バス旅行など、高齢者向けの行事が多くなってしまっている。	近所の中学生たちなどに協力を仰ぎ、若い世代向けの行事の企画や、SNSを活用して、若い世代の目を引くPRを手伝ってもらう。
②子育て支援・子ども向け活動	町内会が良いと思って行った活動があまり効果がない。若者のニーズが分からない。	町内会のホームページを作成する・LINEを活用して情報交換を行う（町内会に詳しい人がいれば任せる）。
③情報発信と共有	回覧板を見ないで回している。デジタル機器の使い方が分からない。	

#### ○町内会・自治会の活性化に向けた3つの取り組み

##### 1. ニーズに対応した活動で「必要性」のある組織

- 今すぐ取り組んでみましょう！
- ①高齢者中心の活動になっていないか検証する。
  - ②世代間の違いを理解する。
  - ③子育て世代のニーズを把握する（座談会などの開催）。
  - ④孤独を感じている若い世代のニーズを把握する。
  - ⑤賃貸住宅やマンションの住民のニーズに対応
  - ⑥アンケート調査でニーズの把握と人材発掘

##### 2. 「オープンな運営」で「気軽に参加」しやすい組織

- ①わかりやすい情報公開
- ②誰もが参加できる役員会
- ③多様な参加形態を可能にする仕組みづくり
- ④オープンな町内会運営の仕組み

##### 3. 「デジタル化」で効率化と情報共有の推進

- ①LINEグループで役員間の連絡を始める。
- ②FacebookやInstagramで町内会の情報発信をする。
- ③LINE公式アカウントを活用した電子回覧板の導入。
- ④デジタル化で若い世代に参画してもらう。

※世代によって利用するSNSが異なるため、使用の際には注意が必要です。